

資料 4

友達になるために

1 誰にだって障害（しょうがい）がおきる



足をねんざしたり、手を骨折してしまったり、歩いたり、字を書いたり、着替えたりするのに不便になります。また、風邪を引いて体がだるいときには家の人に車で学校まで送ってもらうこともあると思います。

また、お年寄りがつえをついて歩いたり、お腹の大きな妊婦（にんぶ）が立ったり歩いたりするのに苦労することもあります。

このように、誰でも今まで普通にできたことが一時的にできなくなったり、誰かに助けてもらわないとできなくなってしまうことがあります。

これらも「障害」といいます。

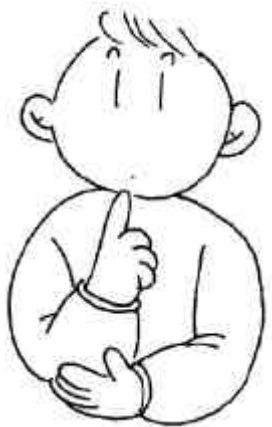
2 みんな誰かに助けられて生きている

障害（しょうがい）のある人が車イスを使ったり、車イスを押してもらっている姿を見た人がいると思います。でも、障害（しょうがい）のある人だけが、他人の助けを借りて生活しているわけではありません。

あなたも多くの人の助けを借りて生活しています。あなたの食事は誰が作っていますか。洗濯はどうでしょう。朝一人で起きていますか。塾や習い事に行くときの送り迎えはどうですか。

大人でも子どもでも、自分自身でできることはほんの少しです。それ以外は家族や他の人に頼っています。障害（しょうがい）のある人は他人に頼ることがみなさんと比べて多いだけなのです。

3 どんな人なのだろうか



世の中は、みなさんのように健康で学校に通っている人ばかりではありません。目の見えにくい人や見えない人はメガネをかけたり、杖（つえ）を持っています。耳の聞こえにくい人や聞こえない人は、補聴器（ほちょうき）をつけたり手話（しゅわ）を使ってお話をしたりしています。手足が不自由な人は一人で立ったり歩いたりするのが難しいので車イスを使う人もいます。

これらの人は近くの学校ではなく、盲学校（もうがっこう）や聾学校（ろうがっこう）、養護学校（ようごがっこう）へ通って特別な勉強（めいけん）をしています。

養護学校（ようごがっこう）に通う児童や生徒達は、考えたり覚えたりするのがとてもゆっくりな人達です。物や人の名前、約束ごとがわからないことがあります。話し言葉のない人やうまく話すことができない人もいます。他の人から言われたことがわからないことや、他の人にして欲しいこと、自分がやりたいことをうまく伝えることができません。そんな時には、ふざけてみたり、怒ったり、奇声（おかしなこゑ）を上げて周りの人を驚（おどろ）かせることがあります。

でも、こんなふうに考えると、これらの行動も理解できるかもしれません。

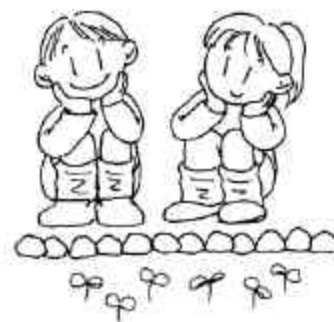
例えば、あなたが1人で外国に行ったとしたら、周りの人がいろいろ話しかけてきても何を言っているのかわかりません。あなたが言いたいことも言えません。こんなときはイライラしたり、逃げ出したい不安（えんじょう）な気持ちになると思います。こんな時には、ちょっとした援助（えんじょ）でとても助かります。

困っている時には気軽に声をかけてあげましょう。

4 養護学校はどんなところ

養護学校には国語や算数・数学、音楽、図工、体育、生活もあります。一人ひとりの児童生徒に合わせて、言葉を覚えたり、数を数えたり、着替えの練習もしています。中学部、高等部では、この他に作業学習という卒業後に向けた職業学習もあります。

しかし、みなさんのように近くの友だちと一緒に学校に通っていません。遠くの学校に通っているために、友だちや顔見知りが少ないことも障害になっています。



5 どのように話せばいいの



話しのできる人もいますが、つまらない話や難しい質問にはだまっ
てしまったり、自分の興味のあることばかり話すこともあります。相手の
目を見て興味をもっていろいろかどうかなかなか話すといいでしょ
う。

言葉のない人は、指差しや絵や写真などを使うとよいでしょう。自分
だけのサインを使う人もいます。自分では話せなくても、相手の言うこ
とは理解できる人もいますので話しかけることも大切です。

言葉は通じなくても、笑顔で話したり、同じ目線で話したりすること
で、心が通じ合うこともあります。

6 いっしょに活動するとき

- ・「○○さん」「○○くん」と名前を呼んで、話しかけましょう。
- ・「わあ！これ見て！」とちょっと大げさに言ってあげましょう。
- ・間違ったときは「これでいいのかな？」と、自分で気づけるように言ってあげましょう。
- ・目を見て話しましょう。
- ・やることを指差して教えてあげましょう。
- ・肩や背中や手に軽く触れ連れていってあげましょう。
- ・言いたいことが伝わらないときは、繰り返したり、別の言葉で言い直してみましょう。
- ・お手本をやって見せましょう。
- ・続けてやらずに順番に1つずつやりましょう。
- ・できることは自分で、できないところは手伝ってあげましょう。



7 誰にでもやさしい気持ちで



養護学校に通っている人だけではなく、小さい子やお年寄り、
病気の人や友達、きょうだいもみんな同じ社会に生きています。
困っているときはお互いに助け合って明るく 楽しい学校や地域
にしたいですね。